

研究実施のお知らせ

研究課題名： 心不全患者における SGLT2 阻害薬の安全性に関する調査

研究期間： 仙台市立病院倫理審査委員会承認後～令和5年3月

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年3月23日施行）に基づき、匿名化された診療録等の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2020年11月から2022年12月までの期間に、当院循環器内科に入院されたジャディアンス、フォシーガ使用患者

【研究の目的と意義】

近年 SGLT2 阻害薬は血糖低下作用以外に、Na 再吸収抑制に伴う利尿作用や糸球体・尿細管の負担を軽減する作用によって、心不全治療薬や腎保護薬として有用であることが明らかになっています。2020年11月より、慢性心不全に対しても一部の SGLT2 阻害薬の適応が拡大したことで臨床での使用頻度も高くなってきています。しかし、糖尿病非合併心不全患者に SGLT2 阻害薬を使用した際の副作用発現に関する報告は多くありません。本研究では非糖尿病患者における副作用発現状況を明らかにするため、慢性心不全に対し SGLT2 阻害薬が使用された患者について副作用調査を行います。

【研究の方法】

当院循環器内科に入院され、ジャディアンス、フォシーガが処方された患者の診療記録にて、副作用発現状況について後方視的に調査します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報（薬剤データ、診療記録、検査データ等）を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究の実施体制】

当院処方のみを対象となります。

仙台市立病院 薬剤科 門間 琢也

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者様の情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を

希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 薬剤科

門間 琢也

仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号

電話：022-308-7111（代表）